

# 新国立削られた「目玉」

## 131億円上乗せが判明

何度も何度も総工費が見直され、迷走した新国立競技場の新しい整備計画が28日、ついに決定した。旧計画で明らかになっていた131億円という新たな費用も判明。国民の反発を受けて白紙撤回された計画は、総工費の上限が1550億円に圧縮された結果、旧計画で盛り込まれていた様々な機能などがそぎ落とされた。



新国立競技場の建設予定地。旧競技場の建物はなくなり、新たな機能・デザインでの建設を待っている(7月、本社ヘリから) 松本剛撮影

## 冷房、ジム、博物館…次々と

「隠す意図はない」28日に公表された新たな整備計画の資料には、旧計画の総工費に、これまで事業主体の日本スポーツ振興センター(JSC)などが説明してこなかった131億円が上乗せされていた。この内訳は、連絡デッキや芝育成システムなど「別途必要不可欠な工事費」としての81億円と、7月下旬以降、国際オリンピック委員会(IOC)から求められた追加設備費50億円。これまで旧計画の総工費は2520億円とされてきたが、この日、131億円を加えた2651億円と修正された。

### 新整備計画で見直された点

	旧計画	新計画
可動式観客席	○	×
屋根	開閉式	観客席とトラック上部のみ
冷房施設	○	×
フィットネスジム	○	×
博物館・図書館	○	×
屋外立体通路	○	×
VIPエリアなど	2万1000平方メートル	1万7000平方メートル
コンサート	年間12日見込み	未定
コンベンション機能	○	×

総工費を巡っては、今月19日に開かれた文部科学省の「検証委員会」でも、ザハ・ハニド氏のデザインを忠実に再現した場合の総工費が、これまで下村文科相が「3000億円超」と国会などで説明していた額を上回る3462億円だったことが、JSCが提出した資料で判明。この際も、この131億円は明らかに

されていなかった。JSC担当者は、「(81億円は)敷地外や完成後の工事で総工費に盛り込まなかった。隠す意図はなかった」と釈明した。下村文科相も、28日の閣議後記者会見で追及され、「二転三転した数字を発表しているマイナスイメージはあるが、最終的な数字を出すのが重要」と述べるにとどめた。

揺れる胸中 冷房施設やフィットネス事業に、コンベンション機能、スポーツ博物館や図書館などの振興施設。旧計画で目玉とされた五輪後を見据えた収益事業や機能

日本は蒸し暑さになっていない外国人観客にも配慮した冷房施設もその一つ。酷暑も予想される7月下旬から9月上旬に開催される東京五輪・パラリンピックで、「観客の快適性を高める空調」として旧計画に盛り込まれ、今回の整備計画でも最終段階まで検討された。

### 新国立競技場建設を巡る総工費の変遷

年月	内容	総工費
2012年11月	国際コンペでザハ・ハニド氏のデザインに決定	1300億円
13年7月	設計JVがザハ氏案を忠実に実現した場合などの総工費を試算	3462億円
14年5月	JSCが基本設計を有識者会議に報告	1625億円
15年1~2月	ゼネコンが総工費の見積もりをJSCに報告	3088億円
2月	JSCが設計JV試算の総工費を文科省に報告	2112億円
7月	JSCが建設計画を有識者会議に報告 安倍首相が建設計画を白紙撤回	2520億円*
8月	政府が新整備計画を公表	1550億円

遠藤五輪相は、「欲しい気持ちと、コスト的にきついの気持ちとが交錯している」と揺れる胸中を明かしていたが、冷房施設費だけ

100億円の費用が削減でき、「2〜3程度程度しか下げる効果がない」などと取りやめた。さらに旧計画では、開閉式屋根を設け、年12回コンサートなどに貸し出して収入を確保する構想だった。フィットネス、コンベンション施設なども備えた複合施設とするはずだったが、費用圧縮を優先する中でいずれもなくなった。

要望に明確の要望が取り入れられず、遠藤五輪相は、新計画の策定に当たり、7月28日、8月25日の間、アスリートや建築家、マスコミ関係者などから計29回のヒアリングを実施して意見を聞いてきた。

で、総工費がふくらんでいながらも指摘される。だが、今回の新計画は、一部団体の要望が取り入れられず、遠藤五輪相は28日、「時間があればもう少し検討の余地があったかもしれない」としながら、「悩みながら最大限配慮したので、私としては迷いはない」と語った。

JR東日本の品川変電所(東京都品川区広町)で今月23日、ペットボトルなどが焼ける不審火があったことが、警視庁や同社への取材でわかった。同庁や同社によると、23日午後8時頃、品川変電所で火が出ていると目撃者から110番があった。警察官が駆けつけると、敷地内

JR品川変電所で不審火 23日、ペットボトル投げ入れ? のフェンス付近に熱で溶けた状態のペットボトルと焦げたティッシュが落ちていた。変電所は当時無人で、何者かがフェンスの外から火のついたペットボトルを投げ込んだとみている。27日に渋谷区の山手線で、22日には中野区のJR中央線で、それぞれ線路脇

ハンガー用新すべ止 動画有り 雑サイマン

税込 4,640円

\*28日に2651億円と判明